

令和4年度クリーニング師試験 技能筆記試験問題

洗濯物の処理に関する知識

係員の指示があるまで開いてはいけません

(注意事項)

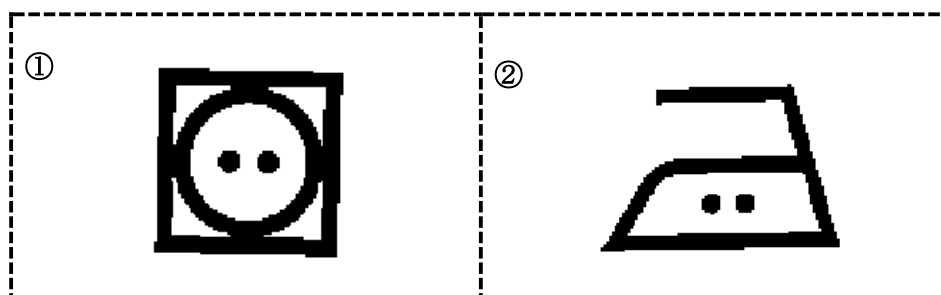
- (1) 解答用紙には必ず受験番号及び氏名を記入すること。
- (2) 試験時間は10分間とする。
- (3) 時間中、トイレ等やむを得ない場合は、手をあげて係員の指示に従うこと。
- (4) 答案作成は鉛筆書き（シャープペンシル可）とすること。
- (5) 文字が不鮮明で読めないときは、手をあげて係員にその旨を告げること。
- (6) 受験中、隣席の者と話をしたり、のぞき見や不正行為のあった場合は、直ちに退場を命ずるものとする。
- (7) 受験票は、名前が書かれた面を上にして、必ず机上の受験番号札の下に置くこと。
- (8) 試験終了後は、受験番号等に記入漏れがないかを確認めたうえ、試験官の指示に従い退室すること。

福 島 県

洗濯物の処理に関する技能筆記試験

受験 番号		氏名	
----------	--	----	--

問 1 次の図は、日本産業規格（J I S L0001）で定める表示記号を示したものです。それぞれの表示記号の意味を選択肢の中から一つずつ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。



〔選択肢〕

- 1 底面温度 150℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。
- 2 塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる。
- 3 洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができる。低温乾燥：排気温度の上限は最高 60℃
- 4 底面温度 110℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。
- 5 洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができる。高温乾燥：排気温度の上限は最高 80℃
- 6 アイロン仕上げ処理はできない。
- 7 ウェットクリーニング処理ができる。通常の処理
- 8 底面温度 200℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。

解答欄	① 5	② 1
-----	-------------------	-------------------

問 2 クリーニング資材とその具体例との組み合わせとして、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 サワー剤 — メタ珪酸ナトリウム
- 2 漂白剤 — 過炭酸ナトリウム
- 3 酵素剤 — コーンスターチ
- 4 糊 剤 — ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム

解 答 欄
2

問 3 次のシミ抜きに関する文章について、それぞれの（ ）の中に入る語句として正しいものを下記の語群から一つずつ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 シミ抜き剤の作用は、溶解作用、（ ア ）作用、化学作用、酵素作用の4つに分類される。
- 2 （ イ ）は、揮発性溶剤や市販油性シミ抜き剤では除去できない樹脂などのシミ抜きに使用される。

〔語 群〕 (ア) ①酸化 ②分解 ③潤滑
 (イ) ①ハイドロサルファイト ②酢酸アミル ③フッ化水素

解 答 欄	(ア) ③	(イ) ②
-------------	---------------------	---------------------

問 4 あなたの前にある繊維を見分けて、その番号を次の解答欄に記入しなさい。

解 答 欄	ナイロン	綿	絹	キュプラ	毛
	4	3	5	1	2